

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	生涯学習推進				シート番号	007-045
担当部署名	市民人権	局	男女共同参画推進	部	生涯学習	課 評価責任者(課長名) 立花

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	生活環境の充実と地域社会活動の推進	有
	2	事業開始年度	— 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	教育基本法第3条			
	4	関連計画	堺市生涯学習支援計画			
5	事業実施の経緯	生涯学習とは、一人ひとりが生涯を通じて行う学習活動であり、平成10年に生涯学習推進プランを策定し、学習機会の提供や生涯学習関連施設の整備など市民の生涯学習活動を推進するための基礎づくりを促進。現在は堺市生涯学習支援計画に基づき、市民の主体的な生涯学習活動を支援している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民、在勤、在学者				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	堺市生涯学習支援計画に基づき、「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」世代を超えて、学び・学びあえる環境を整備し、生涯学習を通じた市民力の向上と主体性をもった担い手の養成を進める。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	生涯学習の振興に係る企画及び総合調整、調査研究、関係機関等との連絡調整のほか、下記の事業を実施。 1. 生涯学習まちづくり出前講座(講座数:95講座) 2. 生涯学習サポーター養成講座 3. 生涯学習情報および市内で活動する生涯学習団体・指導者の情報提供 4. 電話・メール等による学習相談の実施 5. 生涯学習市民活動団体(サポーター養成講座修了生)との協働事業 ◇情報誌ほっとの発行 ◇生涯学習市民講座の開催 ◇生涯学習交流まつりの開催(スプリングフェスティバル) ◇ボランティアスタッフによる学習相談 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他				
10	直接実施以外の主な支出先						

Ⅲ. 投入量

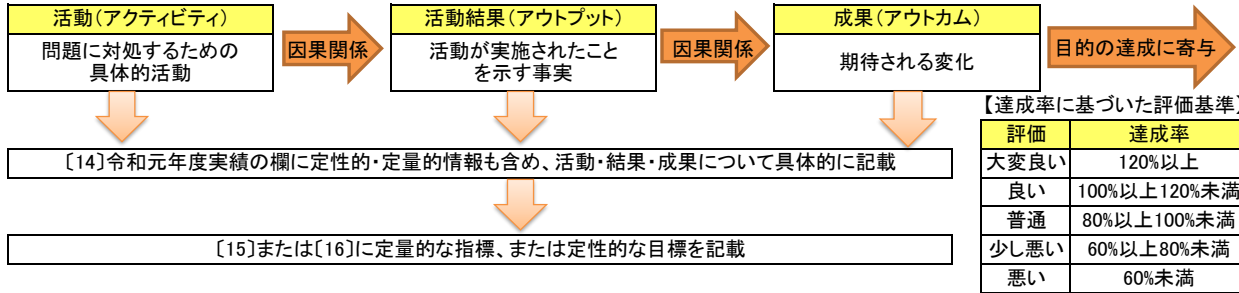
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費(a)	千円	1,300	904	1,427	874	1,177	888	1,298	
主な事業費内訳	報償費	千円	473	156	469	173	274	132	397
	印刷製本費	千円	225	211	225	271	300	242	316
	通信運搬費	千円	250	228	250	224	270	202	255
		千円							
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他( )	千円							
一般財源	千円	1,300	904	1,427	874	1,177	888	1,298	
12 人件費(b)	千円	20,500	20,840	21,350	20,500	20,250	15,795	15,990	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	21,800	21,744	22,777	21,374	21,427	16,683	17,288	

# 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	生涯学習推進	シート番号	007-045
-------	--------	-------	---------

## Ⅳ. 評価(測定・分析)

### ロジックモデルの考え方



[14]令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

### 事業の活動実績や成果

		令和元年度実績							
活動実績と成果	14	<p>当該事業では、「生涯学習まちづくり出前講座」や「生涯学習サポーター養成講座」、「学習情報・学習団体・指導者情報の提供」、「学習相談」、「生涯学習市民団体との協働事業」等の取組を行った。(主な事業実績は下記のとおり)</p> <p>・生涯学習まちづくり出前講座は、各講座担当課の職員が講師として地域に出向き、くらしに身近な問題から市の事業・施策について説明を行う事業であり、市民が市政への理解を深めるための身近な学習の機会として活用されている。(延受講者数 10,391人)</p> <p>【令和元年度受講件数及び受講者数上位】</p> <p>1位: 知って防ごう救急事故 47回 1,208人(消防局救急課)</p> <p>2位: 災害に備えて 45回 1,944人(各区役所自治推進課)</p> <p>3位: 知って得する! 消費者トラブル豆知識 18回 1,173人(消費生活センター)</p> <p>・生涯学習サポーター養成講座では、地域や職場、サークルなどで、本市の生涯学習活動を支援していただくサポーターを養成した(修了者27人)。講座修了後の活動の場のひとつである「堺市生涯学習交流サロン」(同講座修了生が設立)では年10回の「生涯学習市民講座」等を実施し、多くの市民へ学びの成果を広げる活動を行い、市民主体の生涯学習活動が展開されている。</p>							
		指標名【成果指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		15	生涯学習まちづくり出前講座受講者数	人	目標値	-	-	-	4,700
				実績値	12,469	10,492	10,391		
				達成率	-	-	-		
				評価	-	-	-		
		算出方法・設定根拠など		過去3年間の最高値(12,469人)に新型コロナウイルス感染拡大防止対策による事業休止及び再開後の受講者数減を考慮し設定					
		指標名【成果指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		16	生涯学習市民活動団体との協働事業参加者数(生涯学習市民講座・生涯学習交流まつり等)	人	目標値	5,000	5,000	5,000	2,400
				実績値	5,398	5,221	4,842		
				達成率	108%	104%	97%		
				評価	良い	良い	普通		
		算出方法・設定根拠など		堺市マスタープラン後期実施計画における目標値(生涯学習市民講座と生涯学習交流まつりなどの参加者数の合算)に新型コロナウイルス感染拡大防止対策による事業の中止を考慮して設定					

### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	生涯学習まちづくり出前講座受講者数	人	12,469	10,492	10,391
	②	上記①にかかる年間経費	千円	1,971	1,938	4,356
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	158	185	419
	備考(算出についての説明等)		まちづくり出前講座に要する年間経費(人件費含む)			
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	生涯学習市民活動団体との協働事業参加者数(生涯学習市民講座・生涯学習交流まつり等)	人	5,398	5,221	4,842
	②	上記①にかかる年間経費	千円	408	368	507
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	76	71	105
	備考(算出についての説明等)		生涯学習市民活動団体との協働事業において市が支出する年間経費(人件費含む)			

### 業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)

当該事業のうち、「まちづくり出前講座」については、令和元年度からパンフレットを刷新したことにより、申込数は増加傾向にあったが、令和2年1月以降の新型コロナウイルスの感染拡大により、イベント・講座等の開催自粛要請があったことから、最終的には前年度並みの実績値となった。しかし、年間10,000人を超える受講があるなど、市民が身近に市政理解を深める機会となっている他、講座担当課にとっても、啓発事業として活用されている。

また、「生涯学習市民活動団体との協働事業」についても、新型コロナウイルスの感染拡大により、市民講座を中止するなどの影響があったが、概ね目標を達成できた。協働事業については、市民活動団体と協議し、お互いの強みを生かした役割分担を行い、効果的に事業を実施したことで、市民ニーズに即した様々なテーマの講座を開催することができた。さらに、当課主催講座修了生が講座講師を務めるなど、学習成果を活かす場にもなっている等、有効性・効率性の高い事業である。

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	生涯学習推進	シート番号	007-045
-------	--------	-------	---------

≪ V. 点検 ≫

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。



<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 当該事業のうち、「まちづくり出前講座」は、当課が各課の講座一覧をまとめ窓口となって対応をルール化している。本講座を廃止すると、市民に知ってほしい又市民が知りたい施策や事業を学ぶ機会がなくなり、市民力の低下につながるのと同時に市民の利便性も低下する。 また、サポーター養成講座等の他の取り組みについても、市民活動団体と協働で、必要最小限の経費で実施しているため、また、サポーター養成講座の修了生は、市民活動やサークル活動のリーダーとして多方面で活躍しており、本市の生涯学習の推進に寄与しているため。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> <b>休止の場合の再開時期</b> 当該事業のうち、「まちづくり出前講座」は、当課が各課の講座一覧をまとめ窓口となって対応をルール化している。本講座を休止すると、市民に知ってほしい又市民が知りたい施策や事業を学ぶ機会がなくなり、市民力の低下につながるのと同時に市民の利便性も低下する。 (「サポーター養成講座」については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年度は休止) <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 当該事業のうち、「まちづくり出前講座」、「サポーター養成講座」は、主に庁内講師を活用するなど低コストで実施している。 また、「市民講座」の開催や「学習情報誌の発行」、「学習相談」等についても、市民活動団体との協働で実施し、適切な役割分担を行い低コストで実施しているため。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 事業実施にあたっては、3密回避や手指消毒などの感染予防策について周知徹底を行い、適切に実施している。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/> ) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (                      ) 関連事業名 (                      ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 (                      )	<b>理由・説明</b> 当該事業については、すでに庁内講師の活用や民間(市民活動団体)との連携により、低コストで実施しているが、市民サービスの向上の観点から、さらに多様な主体との連携やICTの活用により、講座内容等の充実を図る必要があると考える。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		<b>所見</b> 新型コロナウイルスの感染拡大により、新しい生活様式への対応等、市民生活を取り巻く環境は大きく変化しており、変化に対応できる市民を育むためにも、生涯学習の果たす役割はさらに大きくなると思われる。 現在、一部の事業の実施にあたっては、市民活動団体と協働で実施しているが、今後も市民活動団体をはじめ、様々な主体と協働して、生涯学習の支援に取り組んでいく必要があると考えている。		